

令和元年(平成31年)度 学校経営・運営ビジョン

 福島県立小高産業技術高等学校
ODAKA Industrial Technology and Commerce High School

校訓

共生

敬愛

創造

＜校長あいさつ＞

校長 鈴木 稔

今年はスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールとしてまとめの年となります。地域や企業と連携した取組を発展させ、福島イノベーション・コースト構想に寄与できる人材や地域復興を担う人材の育成に努めて参ります。そして、全国の学校が参考にできる人材育成学習プログラムとしてまとめて参ります。

人材育成

夢実現

社会貢献

学力の向上

- ① 基礎学力の定着と授業力の向上
 - ・主体的に学ぶ授業実践を通して、思考力や探究心などの育成を図ります。
 - ・授業における言語活動を充実させます。
 - ・授業力を向上させ、わかる授業の実践に努めます。
- ② 専門教育の充実
 - ・高度な知識と技術が習得できるように関係機関と連携を図ります。
 - ・各種競技大会等への参加を推進します。
 - ・難関資格が取得できるように課外授業等の指導を充実させます。

豊かな人間性の育成

- ① 健やかな体と豊かな心の育成
 - ・部活動等を通して望ましい人間関係構築や健全育成に努めます。
 - ・地域貢献活動などの体験活動を推進し、礼儀や思いやりの心の育成を図ります。
 - ・授業や行事等を通してコミュニケーション力の育成を図ります。
- ② 教育相談体制の整備
 - ・教職員の教育相談力を向上させるとともに、関係機関との連携を密にし、多様化する課題に対応できる相談体制の充実に努めます。

進路希望の実現

- ① キャリア教育の推進
 - ・学校教育活動全体を通してキャリア教育を実践します。
 - ・進路ガイダンス、校内企業説明会、大学・企業見学等を通して、進路意識の向上を図ります。
 - ・インターンシップや外部講師講演を実施し、職業観や勤労観の醸成を図ります。
- ② 個に応じた指導の充実
 - ・自己理解の深化や表現力の育成を図り、的確な進路選択・実現ができるように努めます。
 - ・各種調査や面談等を通して、生徒一人ひとりの状況を把握し、適切なアドバイスを行います。

開かれた学校づくり

- ① 保護者との連携・協力
 - ・家庭との連絡を密にして、協力体制を構築します。
- ② 地域との連携・協力
 - ・地域社会と一体となった教育活動を実践します。
- ③ 情報の発信
 - ・PTA会報、生徒会誌、メール配信システム等による広報活動に努めます。
 - ・ホームページの工夫・充実に努めます。

<https://odakasangyogijutsu-h.fcs.ed.jp>